

令和元年6月玉川村議会定例会

議事日程(第2号)

令和元年6月10日(月曜日)午前10時開議

日程第1 一般質問

出席議員（12名）

1番	小 針 竹千代 君	2番	石 井 清 勝 君
3番	車 田 幹 夫 君	4番	渡 邊 一 雄 君
5番	塩 澤 重 男 君	6番	小 林 徳 清 君
7番	飯 島 三 郎 君	8番	田 子 武 幸 君
9番	西 川 良 英 君	10番	三 瓶 力 君
11番	大和田 宏 君	12番	須 藤 利 夫 君

欠席議員（なし）

---

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	溝 井 康 夫	主 査	大 竹 絵美子
-------	---------	-----	---------

---

説明のため出席した者の職氏名

村 長	石 森 春 男 君	副 村 長	川 俣 基 君	
教 育 長	鈴 木 文 雄 君	総 務 課 長	塩 澤 理 博 君	
住 民 課 長	塩 田 敦 君	税 務 課 長 兼 会 計 管 理 者	車 田 ヨシ子 君	
健康福祉課長	溝 井 浩 一 君	産 業 振 興 課 長 兼 農 業 委 員 会 長	須 田 潤 一 君	
地域整備課長	石 井 雅 夫 君	事 務 局 長	教 育 課 長	須 釜 信 一 君
公 民 館 長	小 針 武 彦 君			

---

◎開議の宣告

○議長（須藤利夫君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は12人です。

定足数に達していますので、本日の会議を開きます。

(午前10時00分)

---

◎議事日程の報告

○議長（須藤利夫君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

---

◎一般質問

○議長（須藤利夫君） 日程第1、一般質問を行います。

通告順に質問を許します。

---

◇ 石 井 清 勝 君

○議長（須藤利夫君） 2番、石井清勝君の発言を許します。

2番、石井清勝君。

[2番 石井清勝君登壇]

○2番（石井清勝君） おはようございます。

ただいま議長より許可をいただきましたので、さきに通告をしました1点につきまして質問をさせていただきます。

まず1点目なのですが、1、キッチンカーとトレーラーハウスについて。

平成31年3月定例会の一般会計予算の質疑の中でキッチンカーについて、村は運営、管理

はしない、また、トレーラーハウスについて、四辻地区に置くとの説明がありましたが、幾つかの疑問点がありますので伺います。

まず、キッチンカーにつきまして。

①運営と管理、経費について。

②車両の種類について。

③どんな装備があるか。

④使用料金について。

⑤使用期間について。

⑥借り手の対象について。

続きまして、トレーラーハウスについて。

①運営と管理と経費について。

②車両の種類について。

③どのような装備があるのか。

④使用料金について、伺います。よろしく申し上げます。

○議長（須藤利夫君） ただいま一般質問のとおりです。

当局の答弁を求めます。

村長、石森春男君。

〔村長 石森春男君登壇〕

○村長（石森春男君） 2番、石井議員のご質問にお答えいたします。

キッチンカーとトレーラーハウスについてのご質問であります。村では、今年度新たに3年間の地方創生推進交付金事業として、地域を巻き込み賑わいを創る！若者による創業支援事業が採択され、福島県の若者定着・還流しごとづくりプロジェクト事業と連携して取り組むこととしております。

この事業では、若者の創業により村の商業を盛り上げ、地域の活性化につなげていくことを目的としており、若者の創業の足がかりとなる挑戦の場としてキッチンカーや空き店舗を提供し、その後の運営についても自立に向けた段階的な支援を行うものであります。

したがって、キッチンカーにつきましては、若者の創業支援の手段の一つとして村がレンタルし、創業者に利用してもらうという形で進めたいと考えております。

そこで、1つ目の運営と管理、経費についてであります。この事業は、創業したい若者に挑戦してもらう場を提供するものであり、まずは、物をつくることや売ることに集中でき

る環境を整えることが重要だと考えております。

そのため、村商工会などの協力のもと、新規創業者の募集から店舗の立ち上げ、仕入れや売り上げの管理など、幅広い支援を行うシステムを構築することとしており、これらの取り組みを行う委託先についても公募型プロポーザルにより、5月に業者が決定したところであります。

よって、キッチンカーの運営と管理につきましては、今後、詳細を詰めてまいります。基本的には委託先における業務に含まれておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

2つ目の車両の種類と3つ目のどのような装備があるのかのご質問であります。現時点では小型タイプの車両を想定しており、装備につきましては業種や販売品目等を踏まえ設置する予定であります。

4つ目の使用料金につきましては、村が車両のレンタル先に支払う使用料金については、本事業の予算の範囲内で納入することとし、村が創業者からいただく使用料金については、本事業とは別に行っている創業マルシェ事業を参考に、一定の金額を設定する方向で、今後、具体的な調整を行ってまいります。

5つ目の使用期間につきましては、来年3月末までの単年度契約としておりますが、全体としては3年間の事業として採択されておりますので、来年度以降についても、国や県との協議の上、契約を延長することは可能だと考えております。

6つ目の借り手の対象につきましては、先ほど答弁しましたとおり、委託業務の中で新規創業希望者を募集しますので、キッチンカーの借り手は、その中から選考することとなります。

現在、応募対象の詳細について検討を進めておりますが、村が行う事業でありますので、意欲ある本村の若者の応募を期待しているところであります。

次に、トレーラーハウスについてであります。村では、平成29年度から取り組んでいる商業・観光賑わい創出事業において、住民や民間が主体となり、観光関連事業を幅広く展開する拠点とすべく、旧四辻分校の改修を検討しております。

平成30年度に策定した基本計画においては、観光や体験のための宿泊・交流拠点として旧四辻分校を整備するとともに、豊かな自然環境を生かして地域内での回遊性を高めるため、可動式滞在施設であるトレーラーハウスを導入することとしております。

そこでまず、1点目の運営と管理、経費につきましては、5月に公募型プロポーザルにより決定した旧四辻分校改修等基本設計・実施設計等業務の委託業者が行う設計に基づき、宿

泊型トレーラーハウスを発注しますが、受注生産であるため、車両の完成は年度末近くになる見通しであります。そのため、本格的な運営と管理は次年度以降となりますが、公募による民間団体が管理運営を行うことを想定しております。

2点目の車両の種類につきましては、4名での宿泊を想定し、長さ7メートル、幅2.4メートル程度の車両を予定しております。

3点目のどのような装備があるのかのご質問であります。現時点では、ロフト・トイレ・シャワー・キッチン・洗面台・ガス給湯器・エアコン・ポンプつき受水タンク・排水タンク・照明設備などを予定しております。

4点目の使用料金につきましては、具体的な金額は現時点で未定ですが、今後、管理運営を行う民間団体と検討してまいりたいと考えております。

ご質問への答弁は以上であります。キッチンカー及びトレーラーハウスにつきましては、細部にわたる取り決めを整理した上で、導入・運用を行ってまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

以上であります。

○議長（須藤利夫君） 石井清勝君。

○2番（石井清勝君） では、早速ですが、再質問ということでいきます。

まず、キッチンカー、①の運営管理経費につきましては、結局、商工会とか民間に委託するという事になっているんですけども、これは運営管理は商工会でも構わないと思うんですけども、予算が3月の予算で1,452万9,000円の予算を組んでおります。この中で、運営する中で商工会に何台やるとか規制はないんですけども、車両は何台買う予定かお伺いします。まず1点お願いします。

○議長（須藤利夫君） 総務課長、塩澤理博君。

○総務課長（塩澤理博君） 2番、石井議員の再質問でありますけれども、まず、キッチンカーについて何台買うのかというご質問であります。当初予算に計上いたしましたように、キッチンカーについてはレンタルということで、まずレンタルをするものであります。

台数については、当初予算で計上しておりますのは、3台ということであります。

なお、1,400万何がしの中には、キッチンカー3台のほかにタイニーハウスというものが1台含まれております。金額の内訳でいきますと、タイニーハウスはそのうちの520万ほどでございます。

以上であります。

○議長（須藤利夫君） 2番、石井清勝君。

○2番（石井清勝君） 今、予算の中で3台と520万円が入っているということなんですけれども、最初から3台買って運営を管理するのは商工会というふうになっているんですけれども、3台一遍に買って管理が実際にあるのか。もう一つは借り手ですね、一応村内と村長さんは言ったんですけれども、村内で3台を借りる人が実際にいるかいらないか。

結局1年間トータル貸すわけですよ。その中で、3台を常に運営していく玉川村には若手で、何ていうんですか、やる人がいるかいらないか、これから募集するということなんですけれども、実際に村としては、何名くらいいると考えていますか。

○議長（須藤利夫君） 総務課長、塩澤理博君。

○総務課長（塩澤理博君） 2番、石井議員の再質問でありますけれども、まず、先ほども申し上げましたが、キッチンカーについては借りるものでございまして、買うものではございません。レンタルするということであります。

それから、予算について説明しましたが、3台を上限に借りる予定をしているということでございます。

また、さらに、村内に3名借りる人がいるのかという話でありますけれども、創業に意欲がある方については、これから募集をいたしますので、それによって人数等ははっきりしてまいります。上限としてはキッチンカーについては3台ということを予定しておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（須藤利夫君） 石井清勝君。

○2番（石井清勝君） 最初から3台ということなので、3台をメインとしてお話をいたします。

まず、村当局もおわかりと思うんですけれども、小野町もキッチンカーの無料移動販売、無料貸し出しをやっています。そして、小野町の場合は軽トラックです。

小野町は、対象は小野町の物産の販売及びPR、そして小野町において製造加工できる商品となっております。貸し出した車両は軽車両で、装備は調理用テーブル、IH調理器、あと水道が2カ所、給水排タンクが入って、2層タンクですか、あとバッテリー用発電機が入っていると。貸し出し期間は、小野町の場合は1週間なんです。1年間でなくて1週間。

結局イベントがあるとき、あと自分たちが商売をしたいとき、その期間の1週間でやっているわけなんですけれども、小野町も何台か買ったんですけれども、最終的に残ったのは軽

トラック1台ということになっているんですけども、こういう実績があるので、あと近くには浅川で商工会でやっていますね、ハンバーガーと。あれもイベントだけのメインでやっているんですけども、結局、商工会でも管理が大変だということでなかなかうまくいってないような話を聞きます。

やっぱり最初から3台ではなくて、1台を試しにやるとかそうしないと。ただ、補助が出たからやるんじゃないかと、本当に村の物産の販売できるような組織をつくってやらないと、ただ3台買いました、3台歩きましたではいけないんです。

このような経過をもう少し調べて、もう少し考え直していただけないか、ちょっとお伺いいたします。

○議長（須藤利夫君） 村長、石森春男君。

○村長（石森春男君） ただいま小野町さん、あるいは浅川町さんの例を引き合いに出されましたが、村では今後詳しい中身については、先ほど答弁したとおり、これから検討していくという部分で、私も小野町さん、浅川町さん、あるいは東京近郊等で、そういうキッチンカー等の出店をよく目にしております。その際に、そういうキッチンカーの所有者とお話もさせていただいております。近年では、平田村にこの前来ていましたけれども、平田村は5台ぐらい来ていまして、ラーメンをやったり何だりしていますけれども、運営について、決してやっている人は、いや、いいですよという、そういう話までは聞かれてはおりませんが、やっぱり若者の創業支援するために、ある程度自治体がバックアップするという部分では、魅力ある事業だなというふうに思っていますので、今言われましたように、十分中身を精査しながら、そして、十分先進事例等を参考にしながら取り組んでいきたい、そのように思っていますので、ご理解いただきたいと思えます。

○議長（須藤利夫君） 2番、石井清勝君。

○2番（石井清勝君） 内容はわかるんですけども、実は、私も1回キッチンカーの見積もりを出して、一時は始まりたいなと思って、今から3年前に考えていたんですよ。そして、いろいろ調べて、利益を考えればそうでもないなと思って手を出さなかったんですけども、結局、車検とかいろいろな経費がかかるんで、レンタルでも調べたんですけども、5年間レンタルなんですよ、キッチンカーの場合は。そうすると、5年間の経費で考えて、早く言えば個人でやるのは毎日大体6時間稼がないとリース代にならないと話を聞いたものから、私は3年前に一応やめたんですけども。

ただ、村でこういうことを考えていたら、例えば1年間じゃなくて、その期間期間、1カ



月なら1カ月2カ月なら2カ月、みんながやれるようなことで、空港の空の駅とか、道の駅とか、あと今度、乙字ヶ滝でやるお茶会とか、ああいうときに出せるような、1年間でなくて、本当にその期間期間でできるような貸し方を模索しないと、一定の人間ばかりになっちゃうんで、そこをぜひお考えいただけるかお伺いします。

○議長（須藤利夫君） 村長、石森春男君。

○村長（石森春男君） 2番議員のただいまのご発言でございますけれども、自分もやるというような、そういう意向があったというようなご発言でございましたけれども、村もその辺を細かく、短期間がいいのか、あるいは長期間がいいのかという部分は、今後検討してまいりたいと思っています。

そして、なおかつ、自分で最初から一からやるんじゃないで、ある程度キッチンカーのこういう縛りがあって、こういうことをやってくださいよという部分では、初期投資の経費は、多分そんなに投資しなくても済むと思いますので、やられる方はそういう初期投資の費用が軽減されて、そして、自分で半年なり、あるいは1年間経営して、これで創業できればという、そういうのが目的になっていると思いますので、村もその辺の仕事づくりの部分、あるいは地域振興の部分では、大いに効果を発揮するのかなというふうに期待しているところでございますので、中身をよく精査しながらですね、今後進めていきたいというふうに考えています。

○議長（須藤利夫君） 2番、石井清勝君。

○2番（石井清勝君） これから借りたりすると思うんで、あと契約もすると思うんで、まずはキッチンカーをレンタルして、皆さんに本当に安心して見てもらえるような組織をつくっていかないと、ただ金を出しただけでは、村当局も大変なものですから、ちょっと考えながら勉強しながら、今後の運営を、管理を、あと使用者の範囲ですね、それをぜひ考えてやってほしいと思います。

では、続きまして、トレーラーハウスについてですが、トレーラーハウスの場合も予算では710万円、結局、前回の話では民間団体で運営をします。

前の総務課長は、四辻温泉のそばに置いたほうがいいという話は出たんですけども、旧四辻分校を改築しますね、今度。早ければ今年中には内容を選定して品物注文して、大体半年か8カ月はかかると思うんですね、製造までは。すると、来年の早くても夏ころかな、運営できるのが。

その中で、1つだけ設備とかあるんですけども、これは本当に前総務課長が言った四辻

温泉にただ貸すのかという話と、もう一つは民間で団体に任せるというんですけれども、この民間団体は、結局、玉川にできている株式会社ありますね、そこに任せるのか、別個に団体を募集して任せるのか、お伺いします。

○議長（須藤利夫君） 総務課長、塩澤理博君。

○総務課長（塩澤理博君） 2番、石井議員のトレーラーハウスに関する再質問でありますけれども、まず、すわやさん等につきましては、村のほうで敷地の中にですね、村が置かせていただくというような方向性でございます。さらに、昨年、会社ことができました未来ファクトリーの件だと思いますけれども、この委託先については、今後公募しまして業者を決定していくということになりますので、今から未来ファクトリーだということではございませんので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（須藤利夫君） 石井清勝君。

○2番（石井清勝君） すわやさんに置くという話は出たんですけれども、すわやさんはやはり結構値段がいい旅館なんで、そこにキッチンカーを置いて営業妨害にならないのかなと私の個人的な考えなんですけれども、片方は3万円近くなっているんで。

これを早く言えばトレーラーハウスを民間に貸すということはやっぱり借り賃、使用料をもらわないとあれなんで、結局トイレとかベッドとかいろんなのが入っているものですから、最低でも1泊8,000円かもらわないとトレーラーハウスの意味がないと思うんですけれども、ただ、すわやさんに置いて片方3万円の宿泊で、片方8,000円では、すわやさんはどうするのか、それはちょっとわからないですけれども、やってみないと。ただ、この民間会社に委託するということは、結局、その会社とすわやさんが契約しなきゃならないと。将来的に運営する場合。その業者さんが利益になる可能性で1泊幾らと計算すれば、それをすわやさんに言って打ち合わせできるかできないかちょっとわからないんですけれども、例えば、旧四辻分校に置いて、結局そこでやってすわやさんの風呂に入れるような体制をつくって、東野の清流を歩きながらトレーラーハウスに泊まるというコースだったら、本当のトレーラーハウスという意味があるんですけれども、わざわざ旅館の前に置いてやる意味があるかないか、もう少し考えていただけるか、ちょっとお伺いします。

○議長（須藤利夫君） 総務課長、塩澤理博君。

○総務課長（塩澤理博君） 2番、石井議員の再質問でありますけれども、先ほどすわやさんですという話をしてしまいましたが、すわや旅館の敷地内にありますとか、あるいはすわや旅館の前の村有地など、そういったものを想定していると。

先ほど石井議員からもありましたように、旧四辻分校の敷地内だったりそういった所も想定されるものであります。

特に、すわやさんの敷地の中に置くという場合には、当然すわやさんとしても営業の中でプラスだという判断を当然されるでしょうから、そういった条件が合えば敷地内も可能かなというふうには思っております。

いろいろ四辻地区に限らず回遊して、可能なそういう車両でございますので、四辻地区に限らず村内に置けるという可能性を秘めておりますので、まず、具体的に想定しているのはすわやさんの旅館であったり、近くの村有地であったり、旧四辻分校の敷地の中だったり、今度あわせて整備するキャンプ場の敷地ですとか、そういったものも考えられますし、それ以外に、四辻地区以外の村内にも移動できますので、そういったものを考えて、今後提供していきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

○議長（須藤利夫君） 石井清勝君。

○2番（石井清勝君） いろいろあるんですけども、着工というか、実際に使われるのは来年の夏以降だと思うんですけども、それまで結局、本当の使いやすいものにしないと、あと旧四辻分校の整備とか学校の中の改築とかいろいろあるものですから、やっぱり予算を決めたんですから、もう少し最後の終点でどういう形になるかを我々議員にも納得いくような方向でいかないと、ただ予算を決まったから着工しますではなくて、こうなりましたからこうできますというくらいの説明を今後お願いしたいと思ひまして、私の最後の質問を終わります。

○議長（須藤利夫君） これをもって、2番、石井清勝君の一般質問を終わります。

---

### ◎散会の宣告

○議長（須藤利夫君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

（午前10時30分）